



あ

明るく

た

楽しく

ま

前向きに

令和4年7月5日発行
校長 福地 裕之

～ちょっといい話～

6月16日（木）、朝、四中前の道路で自転車に乗っていた女子高校生が転倒しました。そこに、近くにいた四中の女子生徒3人が駆け付け、女子高校生にけがの具合と励ましの声をかけ、倒れた自転車を起こし、散乱した荷物を拾い上げてくれました。当日、女子高校生の教頭先生から四中に電話が入り、大変なけがをした中で、四中の女子生徒3人に助けてもらい、感謝の気持ちでいっぱいであることの連絡をもらいました。けがも順調によくなり、今では元気に学校生活を送っているそうです。朝は、誰もが忙しく、時間も気になる中、快く人助けをしたことは大変立派です。とても嬉しい連絡でした。また、四中生が好きになりました。

「自主自立」

四中の坂道を上った左側に「自主自立」の石碑があります。普通であれば、「自主自律」と書くことが多いのかもしれませんが、四中は「自主自立」です。四中生には、自分自身で正しく判断し、行動して、身を立てていくことができる生徒になってほしいのです。十分にできるはずです。子どもたちが行動を起こそうとするときには、まず、「自分で考え」ます。自分だけでは解決できないこともあるので、「他者や社会と交流」します。そして、その中で自分の頭の中でいろいろと「思い巡ら」して、最終的に「自分で決める」のです。坂道を上りきったところにある「自主自立」の石碑は坂の途中にはないのです。



「県北中体連大会」

県北中体連大会、福島四中の活躍はすばらしかった。大会が終わると各部活動ごとに報告があります。選手全員が職員室に入り、キャプテンは結果と戦いぶりについて述べ、応援してくれた先生方全員に対して、御礼を言います。中には、涙を流す選手もいて、子どもたちの中体連にかけの思いを実感できる場面でもあります。何より3年生の姿が立派で、残念ながら引退する選手もいますが、今後の中学校生活を全力で取り組んでくれることを確信しています。団体で単独で県大会に出場できる部は4つになります。これは、県北地区の学校の中で1番多い数です。文武両道の四中、県大会でもきっと活躍しますので、引き続き応援をお願いします。